

平成20年度用 シカゴ日本人学校案内

シカゴ日本人学校をご存じですか。



アメリカ本土には、シカゴとニューヨーク、ニュージャージーに文部科学大臣認定の全日制日本人学校があります。(補習授業校は76校あります。)この米国に3校の日本人学校が創設されたのは、これらの大都市に駐在した諸先輩が自らの経験により「自らの子は日本人としての教育が最も大切」と認識し、文部科学省への真摯な折衝による賜です。

21世紀を迎え、子どもたちに外国語を習得させるとともに、国際感覚を養い、異文化理解を深めさせることは不可欠です。そのためには、幼年期における全人格的な幅広い基礎教育が肝要であり、「日本人としての母国語の形成」がその基本になります。その「感性豊かな土壌づくり」が、外国語のみならず人間としての総合力を育てる源になると考えています。

ご承知のように、現地校は英語を学ぶ所ではありません。そこは、英語で勉強する所であり、小学校3年生以上の授業では高い英語力が求められます。慣れない異言語環境に置かれた子どもが現地校に不適應を示し、その結果、団体行動ができなくなったり、不登校を起こしたりすることはよく知られている現象です。

以下に、日本人学校の基本的な事柄についてご紹介いたします。

1 全日制日本人学校とは どのような学校なのでしょうか。

海外に存在する義務教育年齢にある子どもたちのために、学校を設置し就学させるべき法的義務を、日本国政府が相手国の主権を超越して直接保障することはできません。

もし、わが子に日本国内に準じた教育を受けさせたいと願うなら、自らが教えるか、又はそのような事が可能な教育施設を創りだすかです。

その地域の在留邦人が、義務教育課程の子どもたちの教育を保障するため、自主的な発意と熱意をもって設立し、文部科学大臣の認定を受けるとともに、外務省・文部科学省の予算措置を経て認可されたのが全日制日本人学校です。

シカゴ日本人学校では、学習指導要領に基づき教育課程を編成していますので、アメリカにしながら日本と同様の教育を受けることができます。

今年度は創立30周年を迎えますが、これまで社会の多方面に傑出した人材を送り出しています。現在、世界中に85校の日本人学校がありますが、その中でも世界に冠たる日本人学校との評価をいただいています。また、今年度からは新たに「すみれ幼稚園(年中・年長)」も開設しました。

2 文部科学省から今年度は 14名の教員が派遣されています。

日本国政府は、校地・校舎借用について補助金などの財政的援助に加え、教員の派遣を行っています。

本校では校長・教頭を含め、今年度14名が国費により文部科学省から派遣されています。

派遣教員は、実践力に優れ、教員として高い資質を備えています。各都道府県の厳しい選考試験を受け、さらに文部科学省で選抜された精鋭ばかりです。

英語科を中心とする10名の現地採用教員を加えた特色ある教育活動等は、素晴らしい教育環境にあるといえます。

3 学習指導要領に準拠し、 アメリカにあるという 利点を生かした取り組みとは。

日本における小・中・高等学校では、文部科学省の定めた学習指導要領に沿って、日々の教育活動を展開しています。

本校では、学習指導要領に基づき教育課程を編成していますので、日本と同様の教育を受けることができます。加えて、小学部1年生から週3時間の米国教師による英会話を取り入れるなど、英語教育に重点を置いています。



さらに、「米国社会」や近隣現地校との交流学習を通して、人間的なふれあいを体験させ、アメリカ社会への理解を深めることに努めています。

地域へのボランティア活動、アメリカ人のコーチを迎えての水泳、スケート、スキー教室などは、子どもたちが楽しみにしている活動です。

毎日6時間、年間授業日数200日を確保することにより、確かな学力の定着を保障しています。

4 英語教育はどうなっているのでしょうか。

小1から中3まで一貫した英語教育を実施しています。特に小学部から週3時間を設定し、アメリカ人教師を交えて習熟度別に3つのグループに分け指導し、低学年ビギナーズクラスはバイリンガル教師が丁寧に指導します。

中学部になると、英検準2級及び2級を取得する生徒もいます。

5 中学生の進路指導はどのようになっているのでしょうか。

「進路の手引き」を作成し、生徒がしっかりとした目的意識をもって進路選択ができるよう指導や支援を行っています。

卒業後、日本国内の高校へ進学する生徒は、帰国子女枠での受験も可能です。進学先は国立大学や有名私立大学の附属高校など多岐にわたっています。また、アメリカ現地校へ進学する生徒もいます。

6 授業料などの諸費用はどのようになっているのでしょうか。

- (1) 入学金 \$750 (入学時に1回のみ)
- (2) 年会費
 - ・双葉会年会費 \$10
(JCCC 会員の方：一家庭あたり)

(3) 授業料他 (年額：一人あたり)

- ・小学部授業料 \$3,276
- ・中学部授業料 \$3,506
- ・通学バス代 \$1,776
- ・CL 基金 \$ 150
- ・環境整備費 \$ 90
- ・教材費は実費
- ・PTA 会費 (一家庭あたり) \$25

(2008年4月現在)

7 入学、編入はどのようにすればよいのでしょうか。

毎年、新入学説明会を2月上旬に実施します。

シカゴ地区を除く米国内、日本及び諸外国からの編入学は、常時受け付けます。ただし、シカゴ地区現地校から小学6年生、中学3年生への編入学は、卒業認定の関係上、6月上旬を最終とします。

その他シカゴ地区(現地校在籍者)の編入学は下記のとおりです。

面接日

- ・3月上旬(新入学・編入学とも)
- ・6月上旬(現地校修了後)
- ・8月中旬
- ・12月下旬

【オフィスで面接の予約をしてください】

編入学時期

- ・3月面接は、4月新学期より編入(新入学も同様です)
- ・6月面接は、現地校修了後(6月上旬)直ちに編入
- ・8月面接は、2学期より
- ・12月面接は、3学期より編入
編入学する学年は国内法に基づく義務教育相当学年

